

夏休み竹細工教室

『竹とんぼ』をつくるぞ!



2013年8月25日(日)10時から生野区民センターで、夏休み竹細工教室『竹とんぼ』をつくるぞ!が開催されました。

大雨の中、たくさんの親子が参加されていました。

始まる前に、参加者がリラックスタイムしたり、刃物を使うので集中力を高める意味で、生野区名物のガチメン大会が行われました。

参加者同士が打ち解けたところで、大阪市青少年活動協会リーダーバンク リーダーの林哲男先生より、『竹とんぼ』の作り方、刃物の取り扱い方の説明があり、子どもたちは、なれない小刀を手で固い竹を一生懸命削っていました。

今まで、1万人以上の人に教えてきて、手を切ったのは5人しかいないということでした。

あまり薄く削ると、よく飛ぶ竹とんぼが出来るけど、人に当たった時にけがをするので、紙やすりで丸くなるように削っていました。

子どもたちは、「最初削るのが固くて大変やったけど、うまくできてよく飛んだのが嬉しい」と話していました。

最後にみんなで竹とんぼ飛ばし大会が行われ、優勝した人には、先生が作った、100年前の竹細工おもちゃ『カタカタ鉄砲』がプレゼントされました。

BBS会の小西会長は、「竹細工を通じて、最近、刃物を使うことが少なくなった子どもたちに刃物の怖さと便利さを学び、物づくりの喜びも感じて欲しい」と話されました。

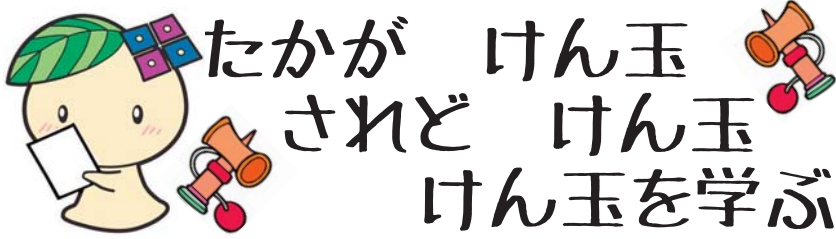


いくみん通信第10号は親子で楽しめる活動についてです。

今回は生野区BBS会が主催する行事取材してきました。

Big Brothers and Sisters Movement 略してBBS会は、「兄」や「姉」のような身近な存在として子どもたちと[同じ目の高さ]で接することで、悩みや喜びを分かちあったり相談にのったりしながら、保護司会・更生保護女性会の協力をいただき青少年の健全育成・非行防止活動を展開しているボランティア団体です。

第6回 子どもと保護者の 夏休みけん玉教室



8月4日（日）生野区民センターホールで『夏休みけん玉教室』が開催されました。

お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にたくさん子ども達が参加しました。

会場ではけん玉にチャレンジしている姿がいっぱい… 最初に「この教室で親と子の絆を深める機会に」とのお話があり、教室が始まりました。

参加者は、けん玉が初めての子ども達から、得意にしている子ども達までさまざま…。けん玉の遊び方がこんなにあるのか!と驚くほど、いろんな遊びをしてからいよいよ技に挑戦!!

基本的な技から、少しずつ段階を上げて…大人も子どもも真剣な表情で挑戦して喜んだり残念がったり。最後に検定があり、子どもも大人も個々の認定証を手にと笑顔が輝いていました。

その後、講師の先生方の技を見せていただき、大人も子どもも目がくぎ付けでしたよ。

教室の中で「見ることも考えることも勉強。」「自分は出来ると信じる。」「集中力が大切。」等のお話があり、子ども達は遊びを通していろいろなことを学び、力をつけていると改めて感じました。次の機会にはぜひ、参加してくださいね。



行事のお知らせは、
広報いくのや掲示板をよく見てね。



生野区地域福祉アクションプラン 子ども部会では、子どもたちの健やかな成長、子育てに関する全ての方に子育てを楽しんでいただけることを願って「いくみん通信」をお届けしています！
保存版ですので、どんどん集めてくださいね♪